

梱包内訳表

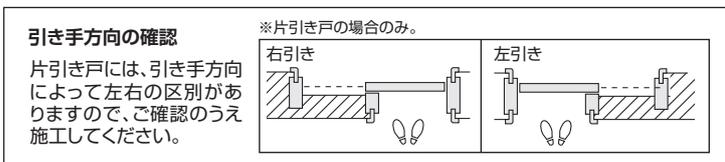
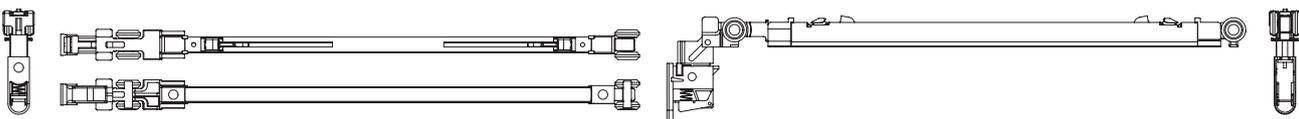
※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット							
部材名	縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板なし (アルミ)	木製 幕板	
入数	片引き戸 引き違い戸	1本 2本	1本 -	1本 -	1本 1本	1本 2本	1本 1本
備考 (部材品番等)	-						

別梱包	敷居埋め込みの場合				床直付けレールの場合		
	敷居		敷居		ケーシング セット		
入数	片引き戸 引き違い戸	本体1本 本体1本	レール1本 レール2本	レール1本 レール1本	戸じゃくり キャップ2個 レール固定 ビス8本	縦用4本 横用2本	縦用4本 横用2本
備考 (部材品番等)	-						

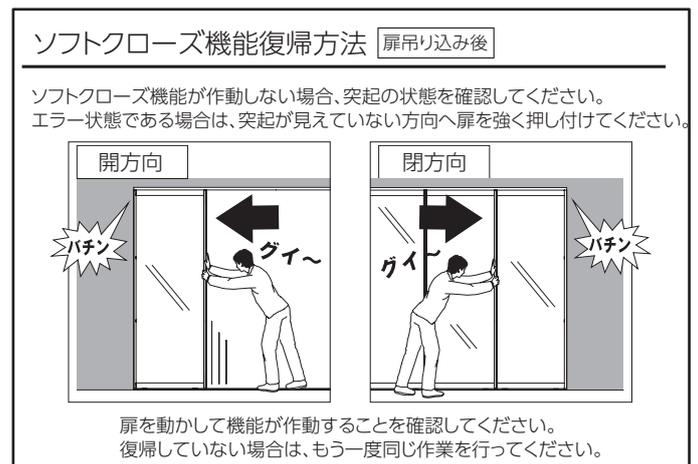
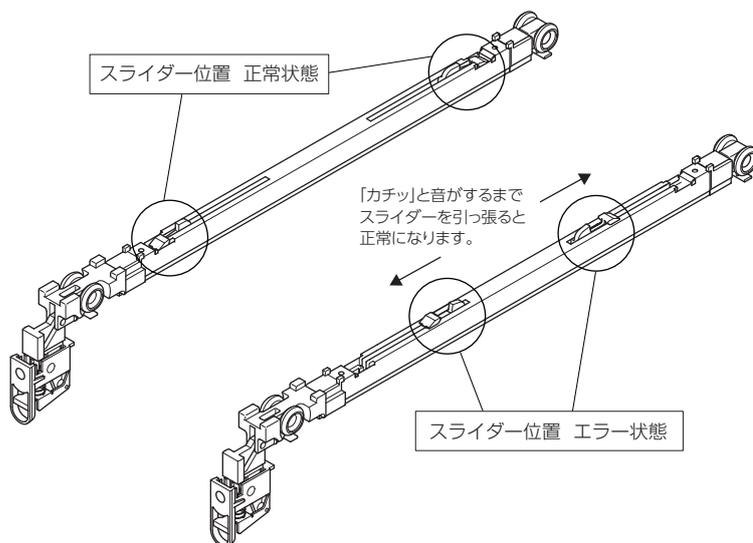
ビスセット(枠本体セットに梱包)							
部材名	木ダボ	組み立て ビス	下枠 固定ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ	
セット品番	6mm 35mm	62mm φ3.8mm	25mm φ3.5mm	47mm φ3.8mm	7mm L50mm	φ16	
入数	片引き戸 引き違い戸	ZYQH64-□ 2本	6本	5本	10本	1本	8個
備考 (部材品番等)	-		-	床直付けレール の場合は 使用しません。	枠と躯体の 固定に使用 出来ます。	-	

金具セット【両側ソフトクローズ】						
部材名	上部ガイド 跳ね上げ 抑制あり	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	
セット品番		18mm 3.5mm				
入数	片引き戸 引き違い戸	ZYSKW 1	6本	1	2	2
		ZYSHW 2	12本	2	4	2



片引き戸 施工…3ページに進んでください。

引き違い戸 施工…9ページに進んでください。



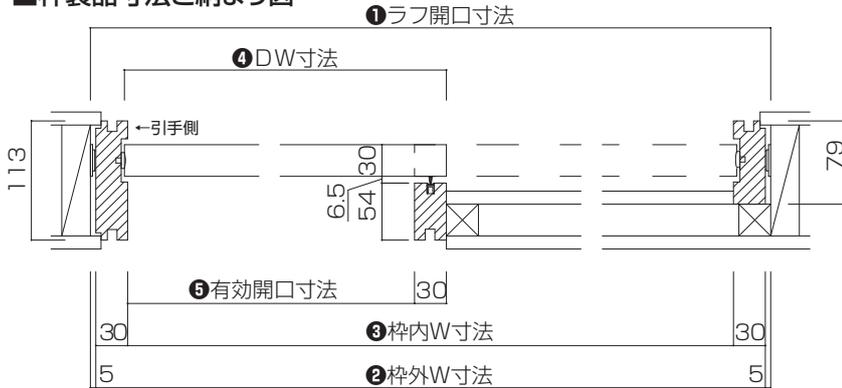
【片引き戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

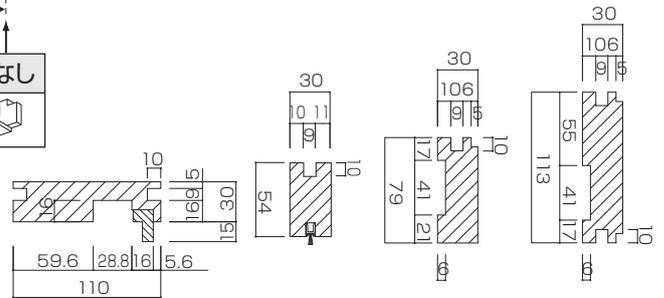
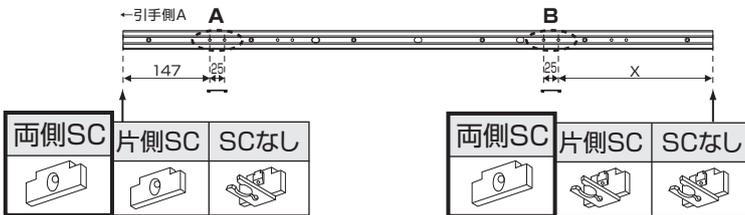
■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,190
①ラフ開口寸法	1,834	1,654	1,460	1,200
②枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,190
③枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,130
④DW寸法	900	810	713	583
⑤有効開口寸法	867	777	680	550
X寸法	579	489	392	262

■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様 A・B

※図は左引きの場合です。
右引きの場合は位置が反対になります。
※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

鴨居

中方立て

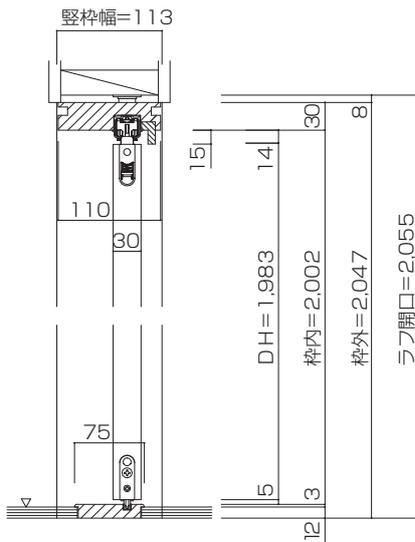
堅枠(戸袋側)

堅枠(開口部側)

縦断面図

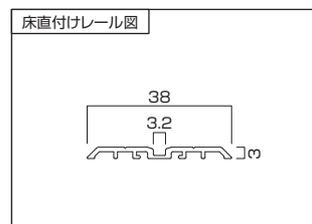
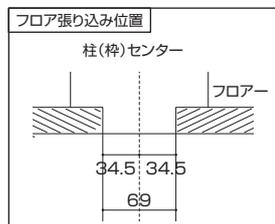
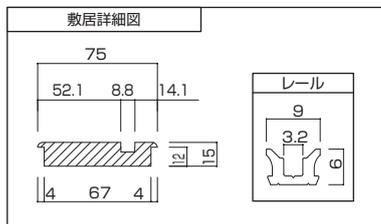
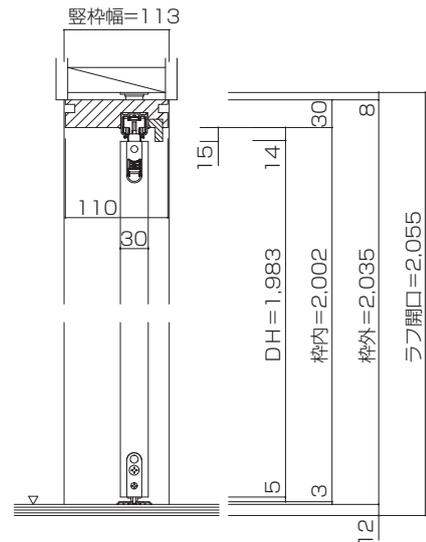
敷居埋め込みの場合

(単位:mm)



床直付けレールの場合

(単位:mm)

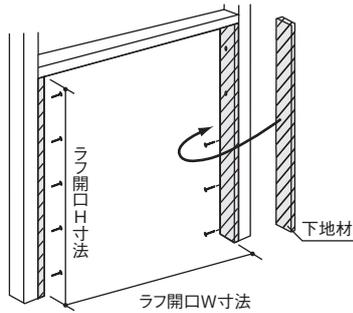


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

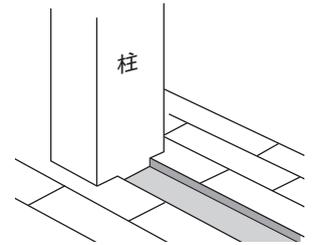
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



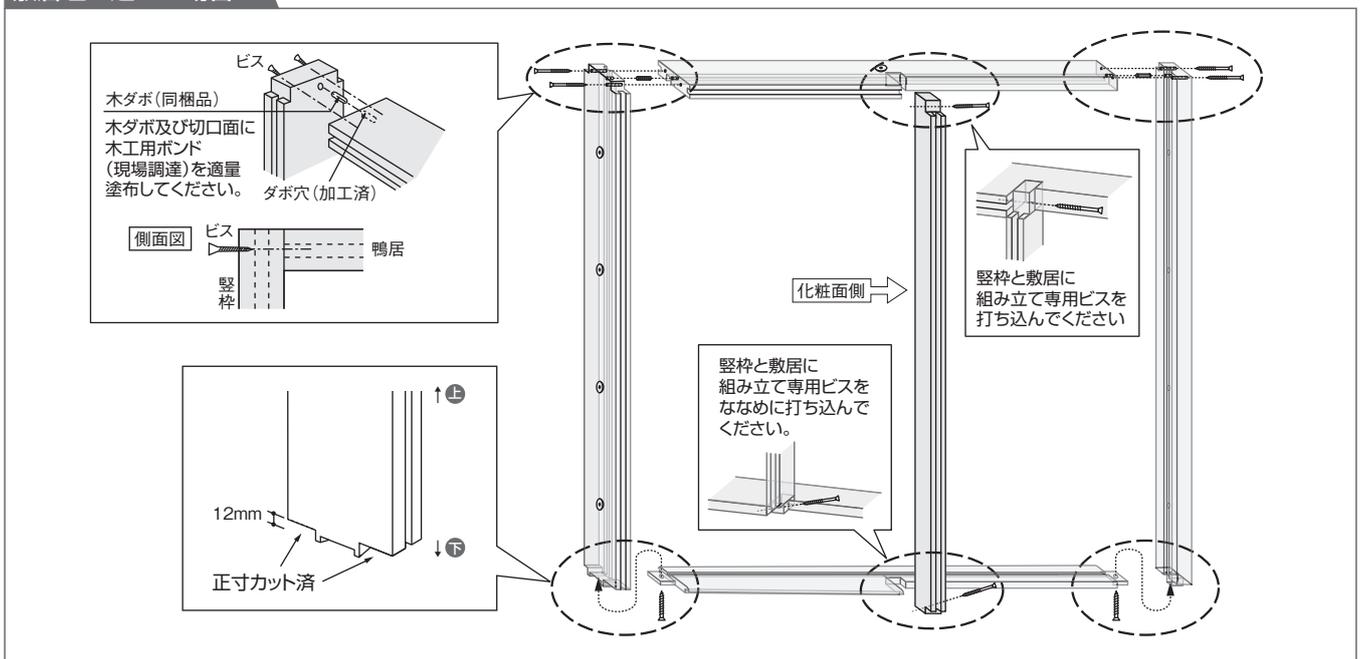
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

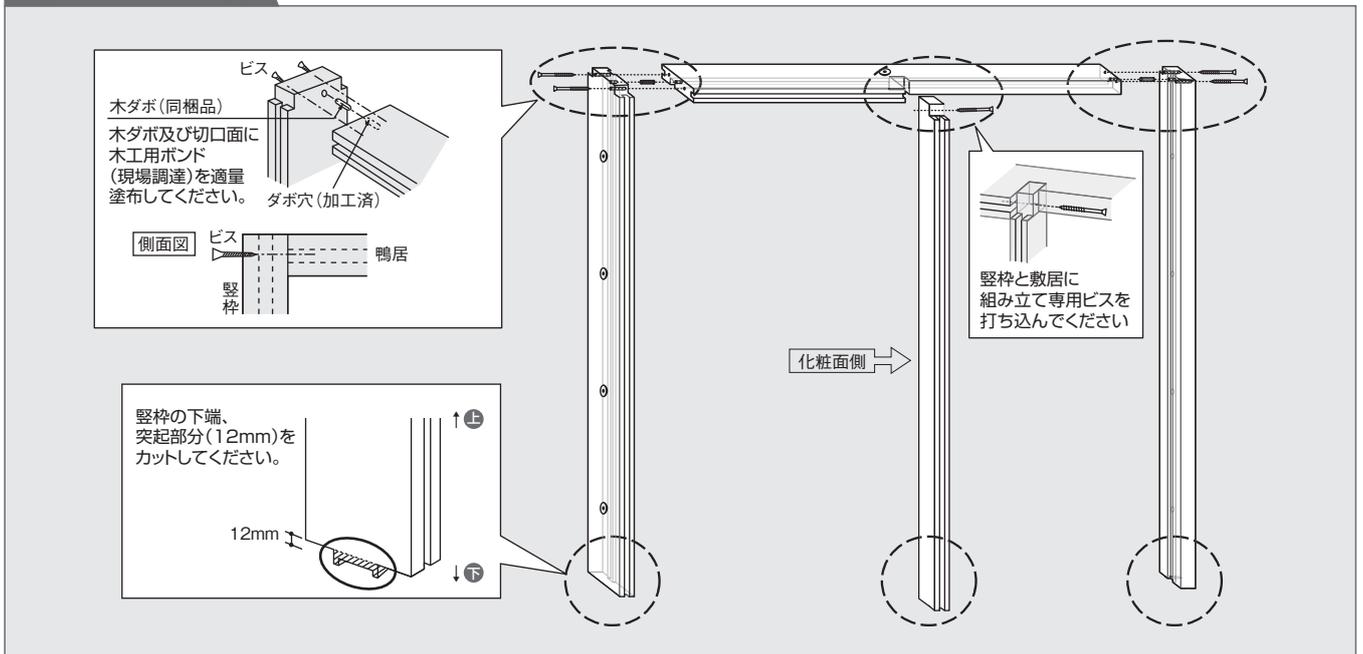
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合

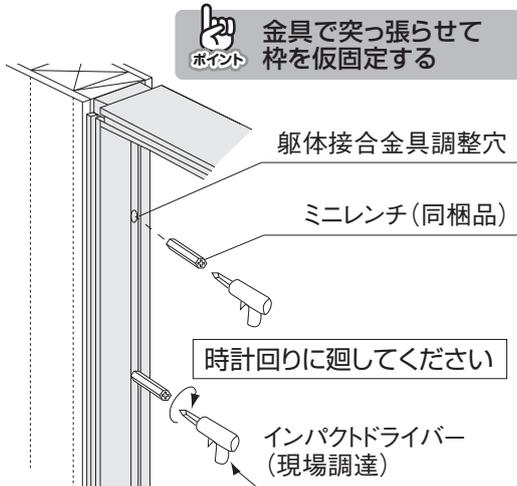


4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

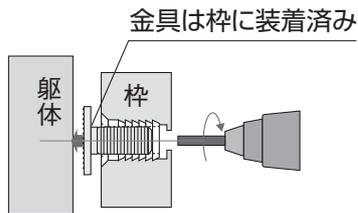
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

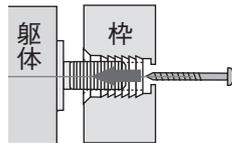


⚠ 注意

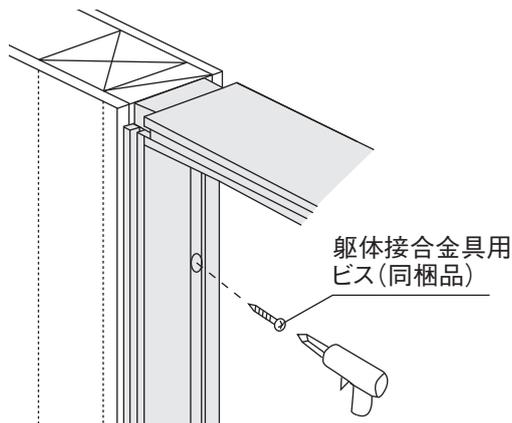
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



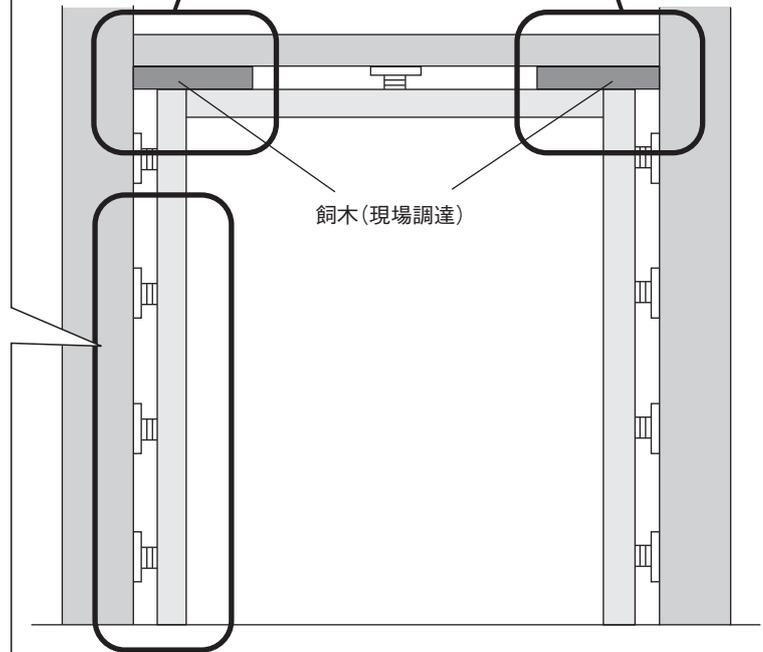
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

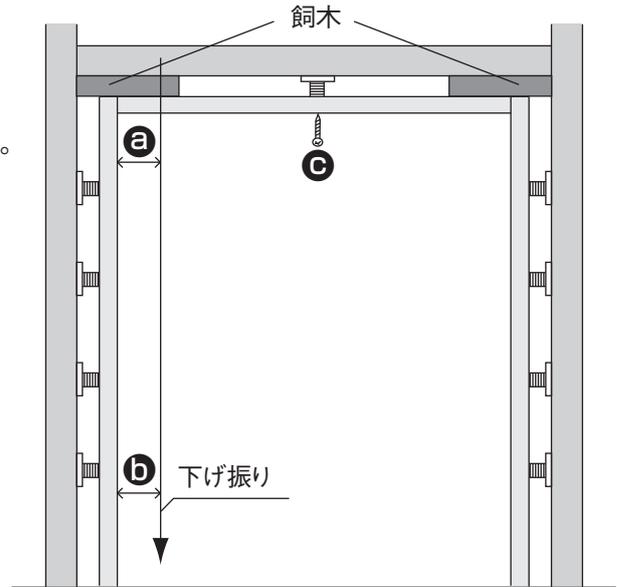
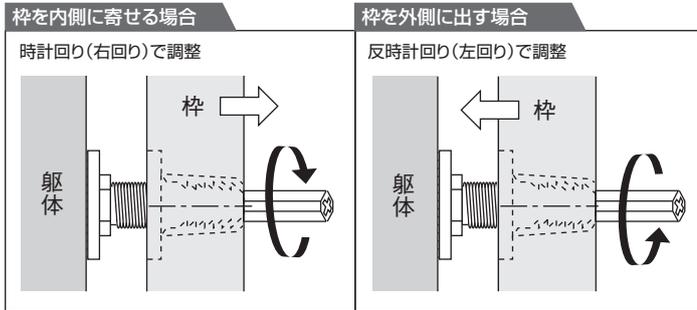
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



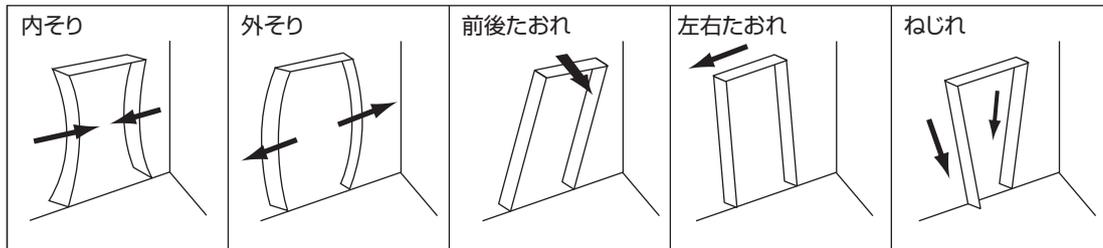
5 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

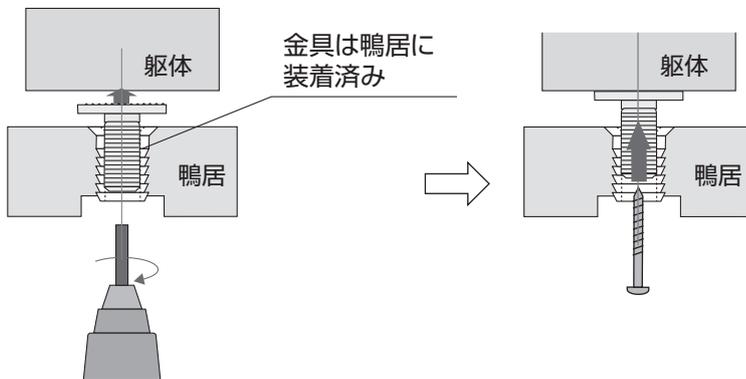


※下記の様なことがないようにご注意ください。



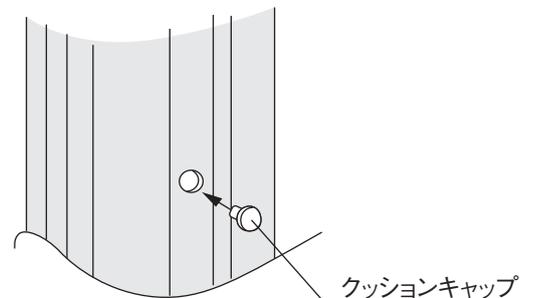
② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。

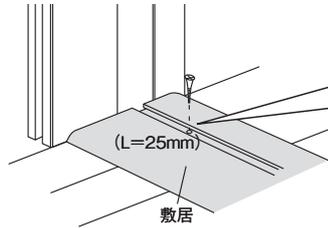


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

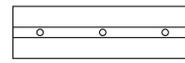
① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



ビス頭が残らないように締め込む

敷居



ビス3ヶ所どめ

確認

敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んで、木くず・ゴミなどを除去し、平滑にしてください。

注意

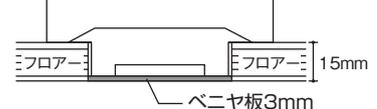
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フローアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフローアなど12mm以上の厚みのフローアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

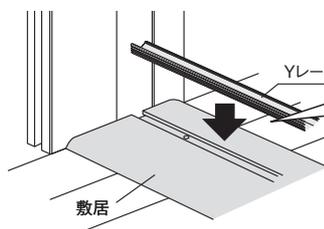
12mmの場合



15mmの場合

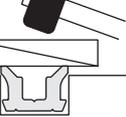


② レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意

アテ材



Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



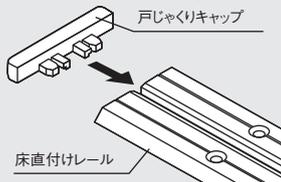
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

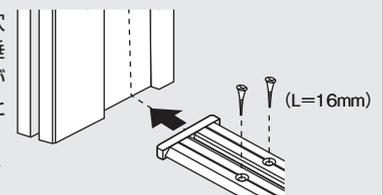


② 床直付けレール取り付け位置の確認

堅枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールのセンターになるように位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。

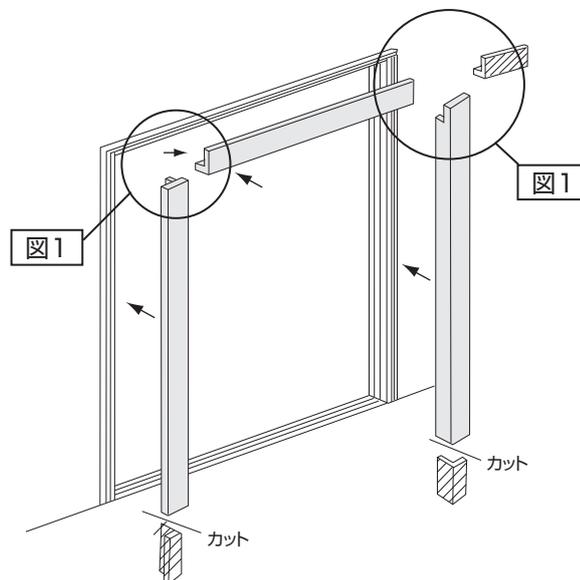
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

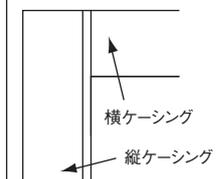
7 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

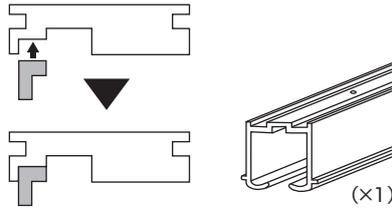


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの取り付け

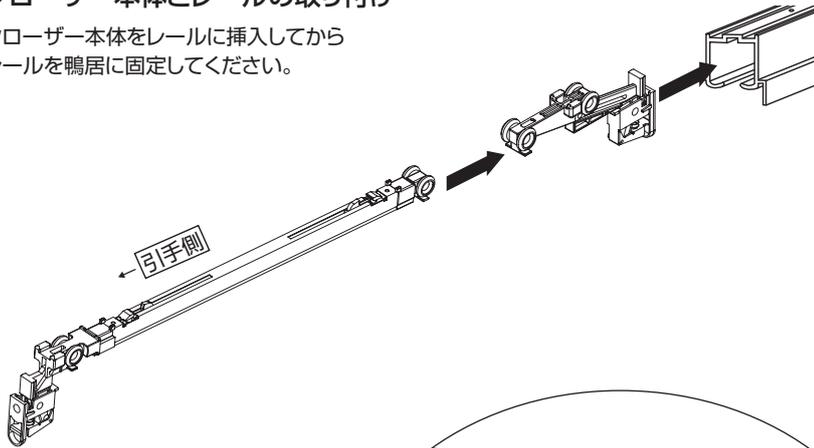
鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。
 別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)と
 フィニッシュネイルを併用で鴨居に取り付けてください。
 ※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カット
 してください。



両側ソフトクローズ 仕様 標準

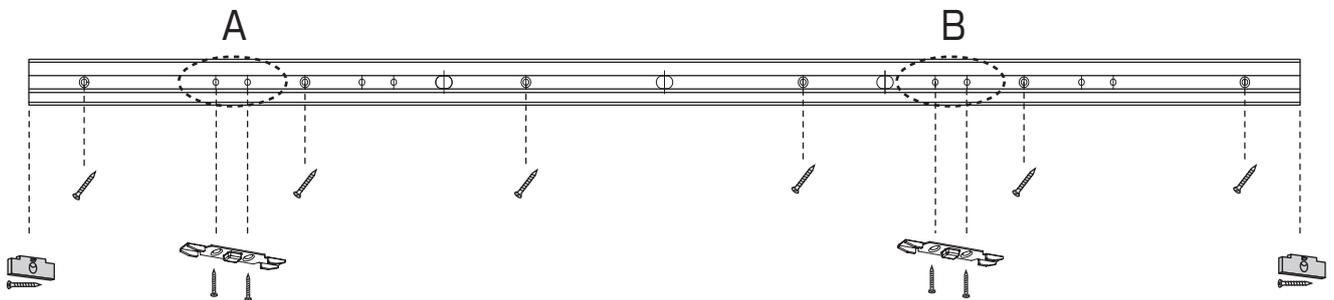
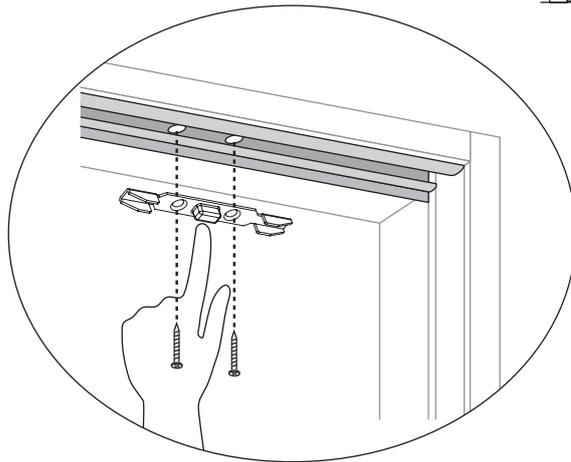
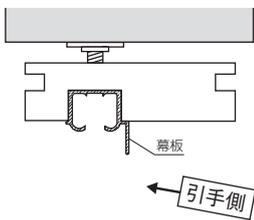
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
 レールを鴨居に固定してください。



② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、
 鴨居芯側に向けて取り付けて
 ください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

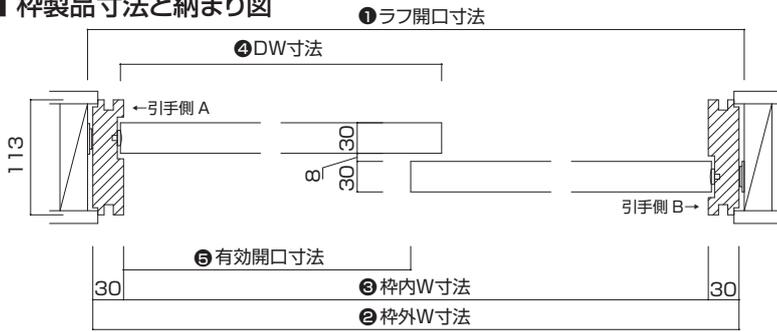
【引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

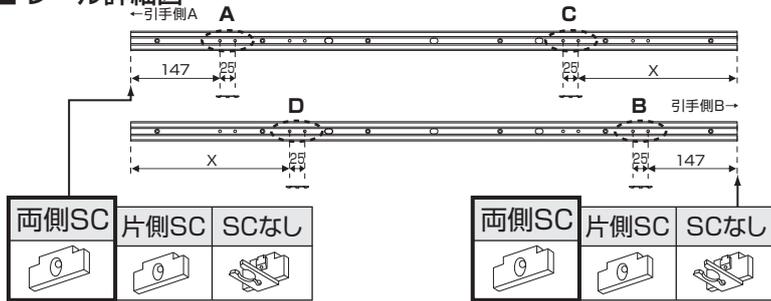
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



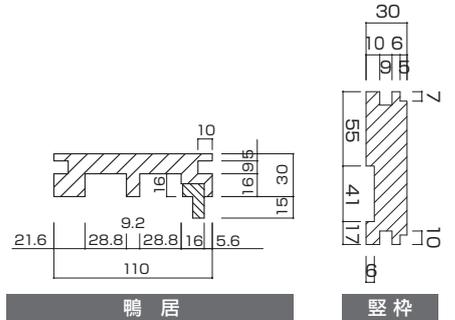
製品寸法	1,824	1,644
① ラフ開口寸法	1,834	1,654
② 枠外W寸法	1,824	1,644
③ 枠内W寸法	1,764	1,584
④ DW寸法	900	810
⑤ 有効開口寸法	867	777
X寸法	579	489

■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様 A・B・C・D

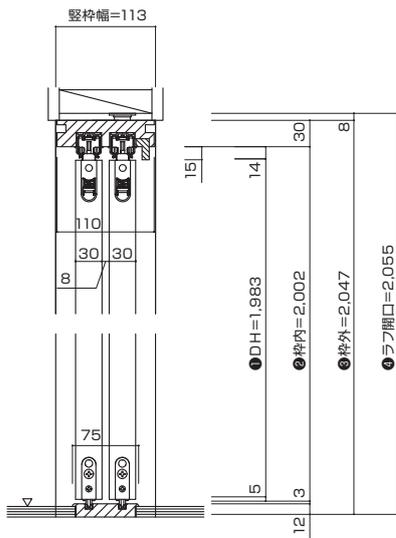


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

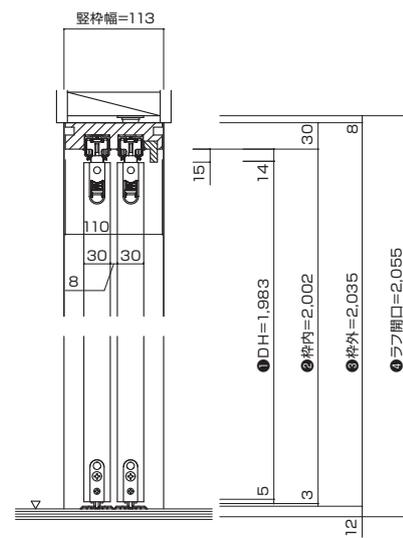
敷居埋め込みの場合

(単位:mm)

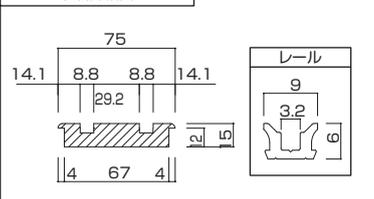


床直付けレールの場合

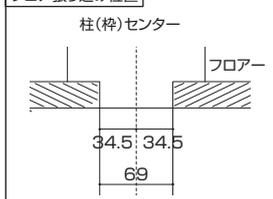
(単位:mm)



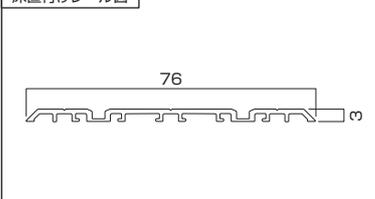
敷居詳細図



フロア張り込み位置



床直付けレール図

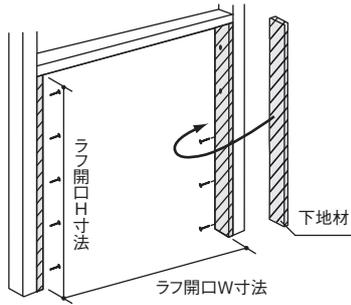


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

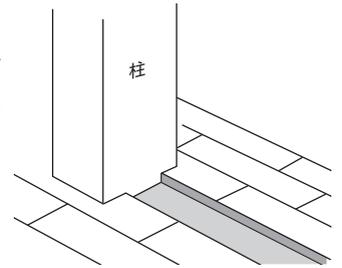
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



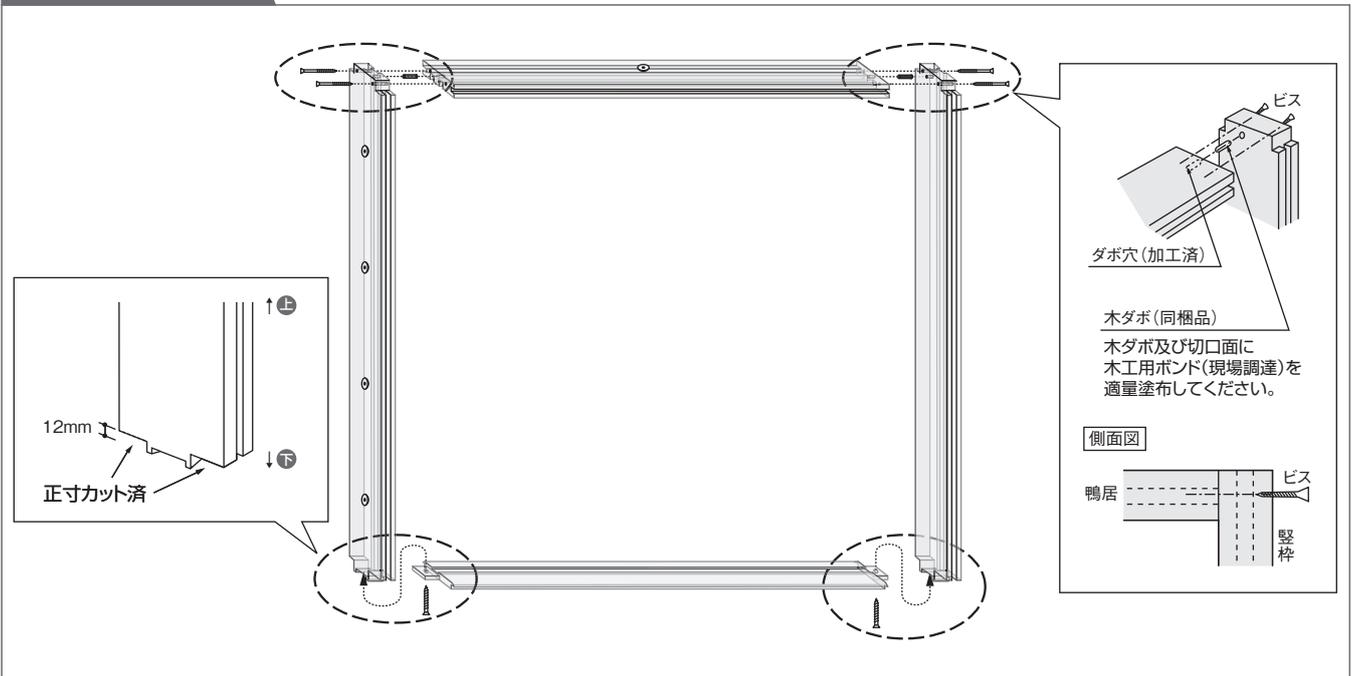
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

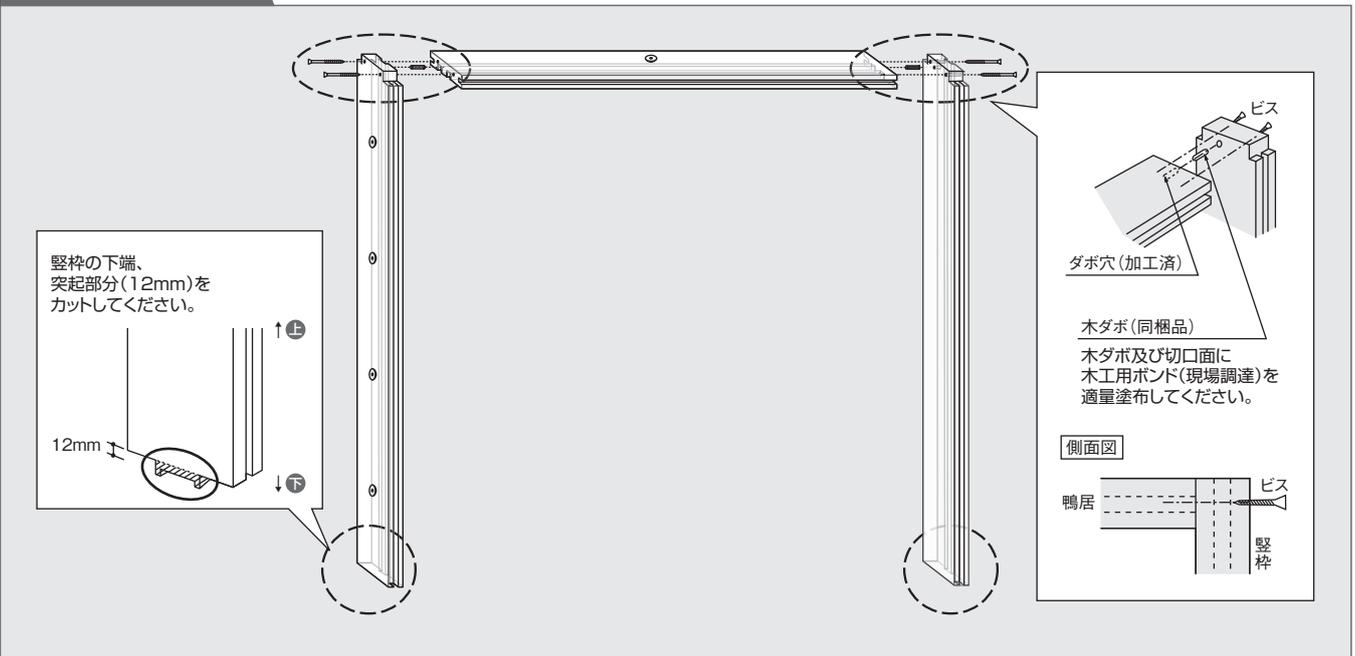
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合

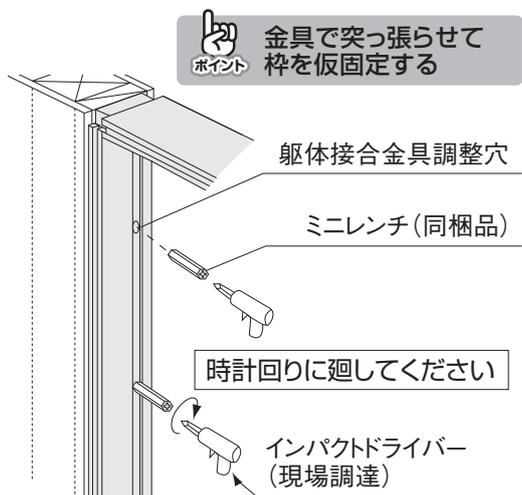


4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

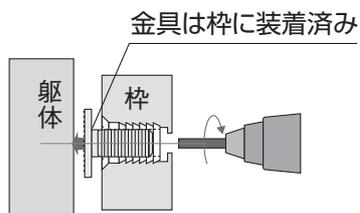
■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

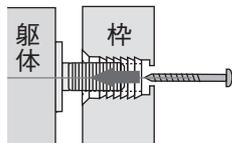


⚠ 注意

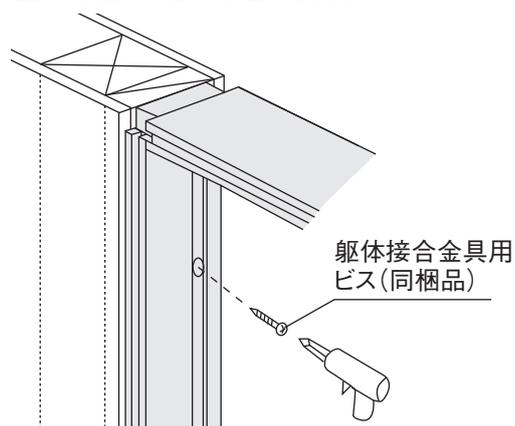
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



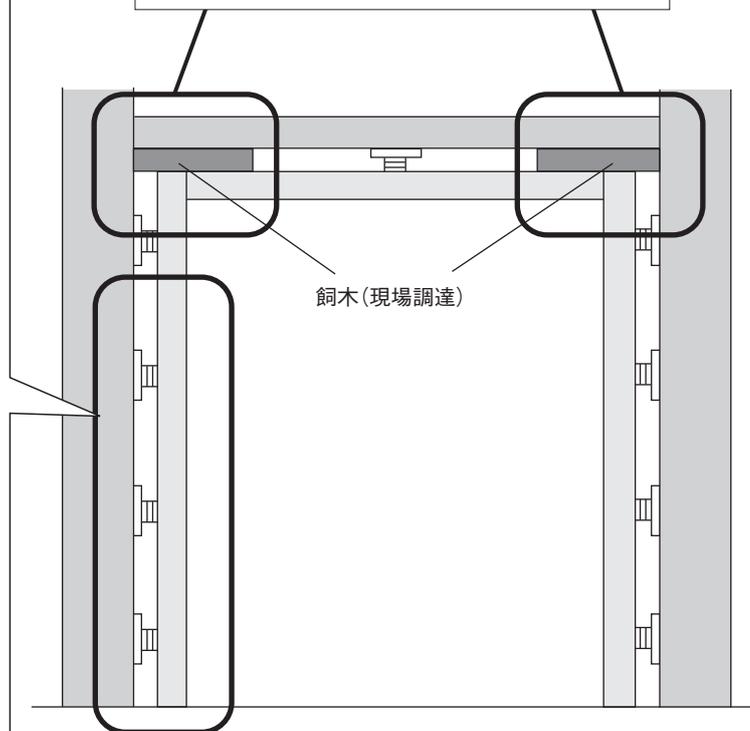
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

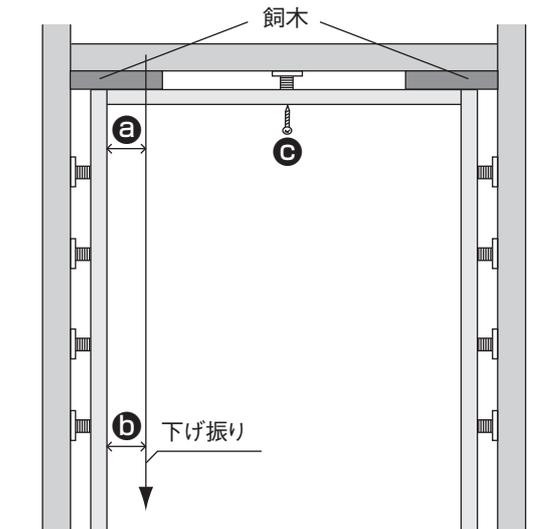
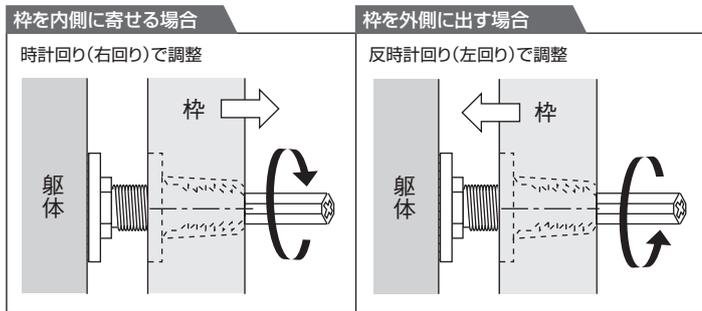
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



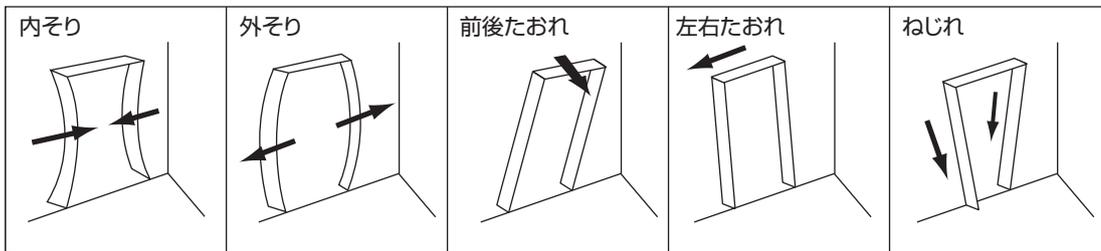
5 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a** = **b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

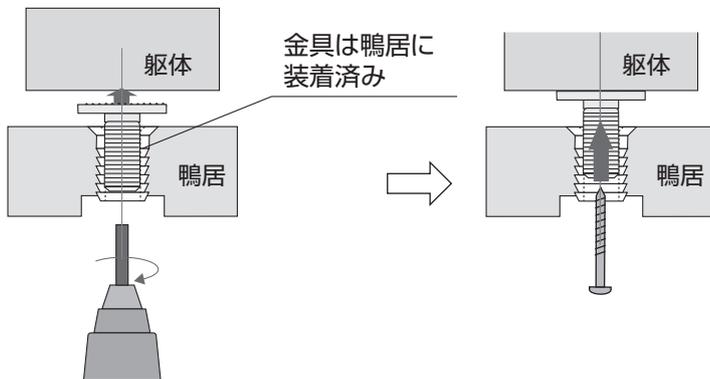


※ 下記の様なことがないようにご注意ください。



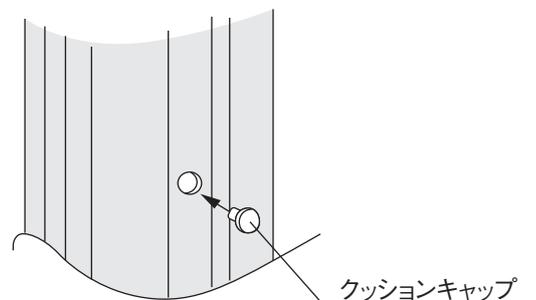
- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



- ③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。

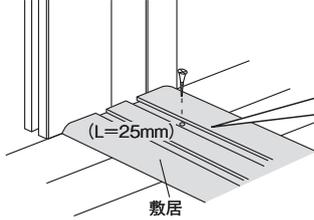


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



⚠ 注意

敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

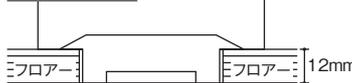
ビス頭が残らないように締め込む

確認

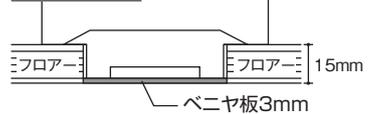
敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んで、木くず・ゴミなどを除去し、平滑にしてください。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフロアなど12mm以上の厚みのフロアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

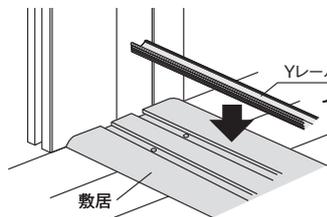
12mmの場合



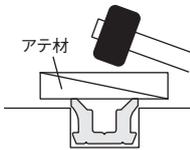
15mmの場合



② レールの取り付け

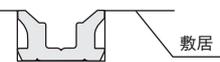


Yレール取り付け時の注意



Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



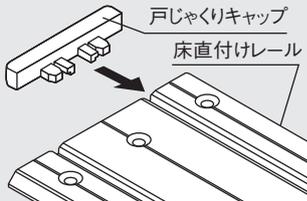
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

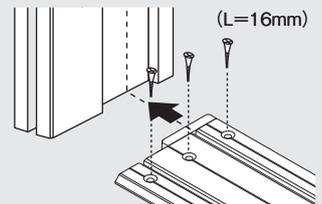
戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。



② 床直付けレール取り付け位置の確認

戸じゃくりキャップ部分が、縦枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。

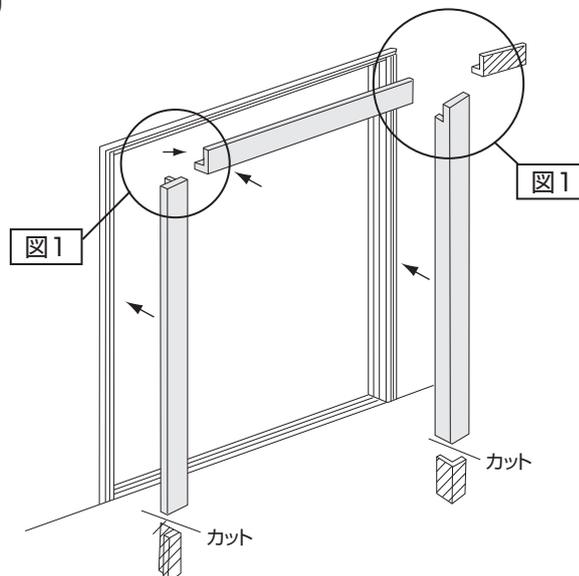
同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

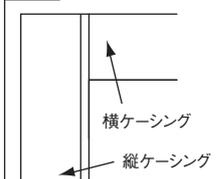
7 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。
寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

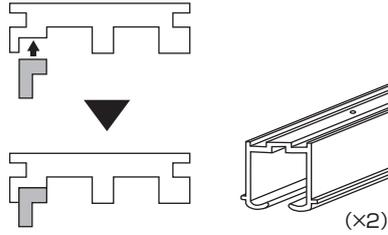


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

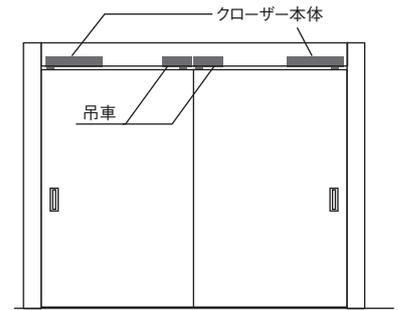
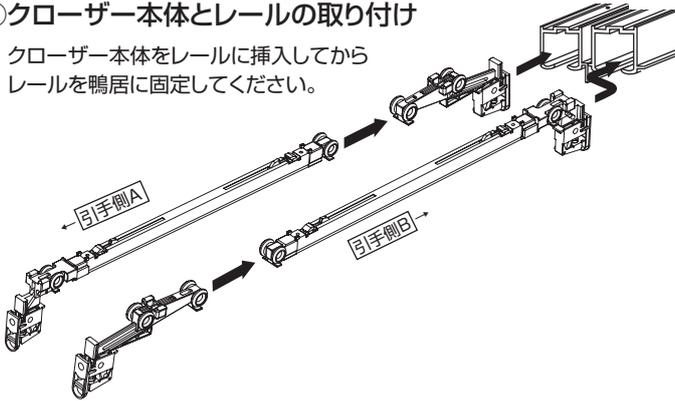
鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。
 別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)と
 フィニッシュネイルを併用で鴨居に取り付けてください。
 ※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カット
 してください。



両側ソフトクローズ 仕様 標準

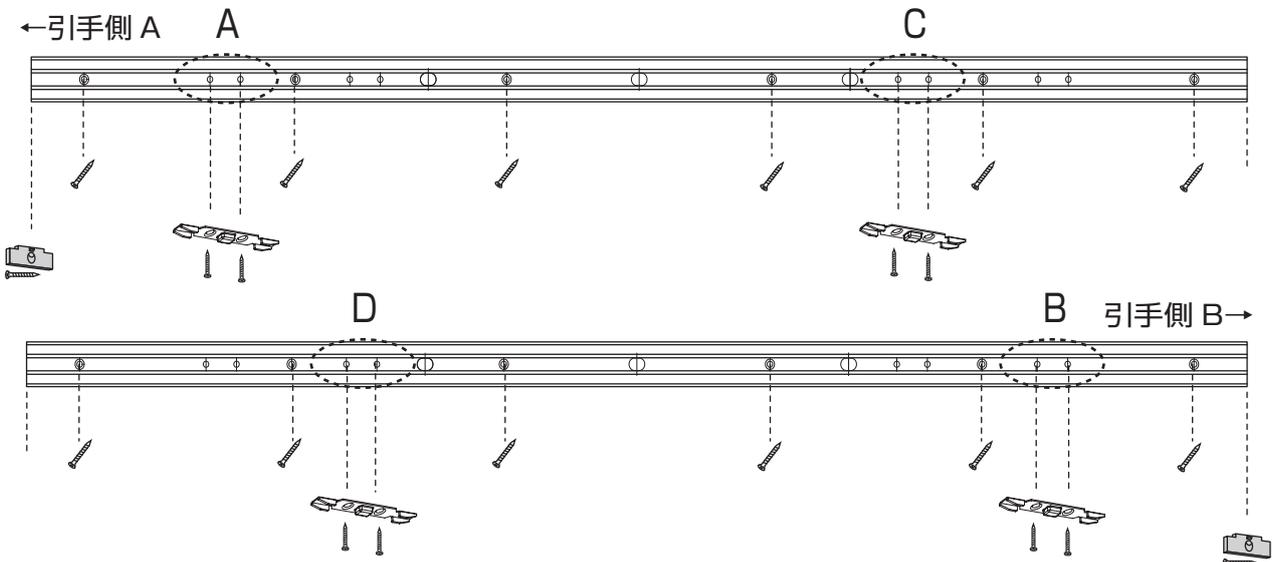
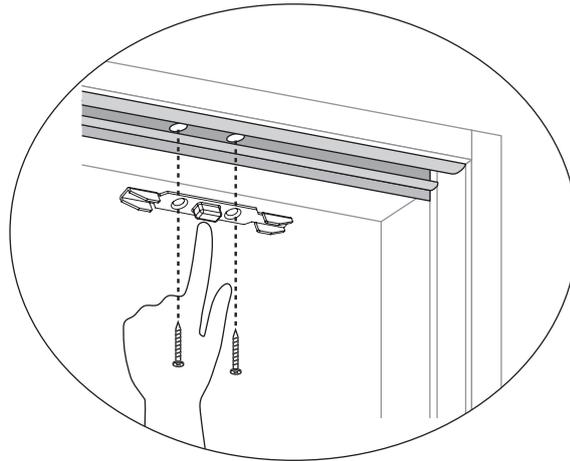
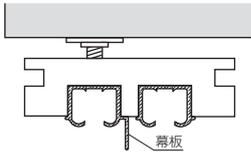
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
 レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側
 に向けて取り付けてください。引き違い戸で
 は片方のレールには幕板はつきません。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。